

図書館 経営計画書（総括表）

■事務事業の総括

No.	事務事業名	様式 区分	H24 年度計画額（単位：千円）		H24 年度必要人工	
			計画額	内特定財源	職 員	臨時職員
1	図書館運営事業	B	27,658	10	2.0	7.0
合 計			27,658	10	2.0	7.0

■特記事項

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	図書館	No.	01
事業名	図書館運営事業		
総合計画の 体系	大分類	1	新しい時代を担う次世代を育む
	小分類	(1)	個性を伸ばし豊かな人間性を育む学校教育・生涯学習の推進
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・災害や犯罪などを防ぎ、安心・安全な施設を提供するために館内設備の充実を図る。 ・図書の収集の迅速化及び利用者へのサービス向上。 ・子どもの読書推進を図る。 		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・安心・安全確認のための館内監視。 ・資料の貸出(個人・団体)、配架、購入、除籍等の整理作業。 ・愛知県図書館との協力貸出と県下図書館との相互貸借。 <ul style="list-style-type: none"> ・延滞者に対する督促。 ・予約、複写サービス。 ・蔵書に対する調査相談事業。 ・幼児、児童等を対象としたお話会等の開催 		
現在における経過又は課題	<ul style="list-style-type: none"> ・安心・安全な施設を提供する上で、設備不足が課題となっている。 ・平成23年度に、新たな図書館システムの導入を行なった。 <p>このシステムにより、図書の収集スピードの向上及び、経費の削減が求められている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもへの読書推進を行う上で、団体貸出制度の周知や支援が必要。 		
平成24年度の目標又は改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・安心・安全な図書館にするため、防犯カメラの設置したり、書架の修繕を行う。 ・新たな図書館システムの安定的な運用を図ることにより、図書の収集のスピード向上については利用者サービスの向上に取り組む。 <p>さらには、このシステム導入による経費面と業務運営の更なる効率化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体貸出資料の利用案内と資料の充実を図る。 		

■作業工程 (当該年度)

月	作業内容
4	防犯カメラの設置。 児童図書室書架の修繕 団体貸出にいてPR 広報おおぐち「図書館だより」の作成。
5	
9	
10	
	年間を通して、効率的な図書の収書を図る。

□3年間の目標

項目(単位)	H22計画	H22実績	H23計画	H24目標	H25目標	H26目標
標目						

□ 2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H25年度	
H26年度	

■ 事業コスト

		単位	H22年度決算額	H23年度当初予算額	H24年度計画額
事業費		千円	36,948	32,928	27,658
(内特定財源)		千円	26	10	10
人工	職員	人工	3.0	3.0	2.0
	臨時職員	人工	7.0	7.0	7.0
	計	人工	10.0	10.0	9.0

■ 平成24年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
書籍忘失等代金	10	
合計	10	

■ 平成24年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容
廃止	13 図書館情報インターネット検索システム及び14 インターネット検索電子計算機器	0	△841	サーバークラウド構築の魁として、H14年度に図書館ホームページは、システム保守委託の助けを借りて開設されたが、クラウド型新図書館システム中にHP機能があることや中継ページとしての町のHPがCMSにより職員でも簡単に編集できるため、不要となった。
廃止	14 図書館情報電子計算機器	0	△2,079	平成23年9月末日まで、リースによる5年長期継続契約であったが、平成23年10月より、平成22年度地域活性化交付金(住民生活に光をそそぐ交付金)で購入したクラウド型システム対応の図書館情報電子計算機器を使用しているため2,079千円の支出が不要となった。
新	14 使用料及び賃借料(図書館情報システム)	1,034	435	平成23年10月より国の交付金を使いクラウド型図書館システム対応の機器を購入したため、クラウド情報センターにある図書館システムの使用料が発生する。(長期継続契約～H28年9月末日)

新	18 備品購入費 (図書館備品購入費)	137	137	館内利用者を含む入館者の増加に伴い図書館の混雑ぶりは、想像を超える時がある。その様な時に、不審者による迷惑行為や不正行為が多く発生する。それらを未然に防ぐため、館内に防犯監視用のネットワークカメラを設置する。
---	------------------------	-----	-----	--

■特記事項

【統計データ】個人貸出数の実績(平成22年度)

出典：図書館年鑑 2011 より

- 人口3万人未満の町村 13位／427館中
- 人口1万5千人以上3万人未満の町村 14位／182館中
- 全国町村立図書館 32位／493館中

■ 目標又は改善策に対する取組内容

- 安心・安全な図書館にするため、計画的に防犯カメラの設置を行う。
また、児童室書架の背板修繕を行い子どもへの安全対策を行う。
- 新たな図書館システムの安定的な運用を図るため、障害等の調整に励む。
生活に役立つ図書収集のスピード化を図り、利用者へのサービスの向上に取り組む。
- 賃貸借契約による電算機器を行わず、平成 22 年度地域活性化交付金(住民生活に光をそそぐ交付金)で購入したクラウド型システム対応の図書館情報電子計算機器を使用することにより、経費節減を図る。
また、ホームページ管理のための電算機器を賃貸借契約していたが、クラウドシステム導入により、システム内の機能を使うことにし、経費面と業務運営の更なる効率化を図る。
- 団体貸出資料の利用案内と資料の充実を図るため、各学校等の施設へ制度案内を送付し、周知に努る。

■ 評価

- 計画的に防犯カメラの設置を行ったことは、安心・安全な図書館を提供することに役立った。
また、児童室書架の背板修繕を行い子どもへの安全対策を行ったことは、安全な図書館環境が提供できた。
- 新たな図書館システムの障害等をシステムエンジニアと調整に励んだことで、安定的なシステム運用が図れた。
生活に役立つ図書収集のスピード化を図ったことも、利用者サービスの向上につながった。
- 電算機器賃貸借契約を行わず、平成 22 年度地域活性化交付金(住民生活に光をそそぐ交付金)で購入したクラウド型システム対応の図書館情報電子計算機器を使用することにより、経費節減が図れた。
また、ホームページ管理のための電算機器を賃貸借契約していたが、クラウドシステム導入により、システム内の機能を使用し、経費節減と業務運営の更なる効率化が図れた。
- 団体貸出資料の利用を図るため、各学校等の施設へ制度案内を送付し、周知に努めたことは、利用拡大につながった。